

里山の生活体験教室【西条市】

～大保木で里山の生活体験教室～

◆活動の目的・理念 過疎に負けない村づくり

- 地域の環境を生かした体験活動の実施
- 若者と地域住民との交流
- 地域住民の活力、地域のにぎわい創出

活動場所	大保木公民館		対象学校区名	西条市内全域の高校生 新居浜市内の一部の高校生		子どもの平均 参加人数	10 人/日	
開催日数 曜日・時間	土曜日	8 日	10 : 00 ~ 12 : 00	活動のべ 日数	9 日	協力者 のべ人数	15 人	
	日・休業日等	1 日	10 : 00 ~ 12 : 00					
協働活動サポ ーターのべ人数	22 人	地域住民・出身者		ボランティア のべ人数	39 人	地域住民、出身者、保護者		
参加者募集	各高校を訪問してチラシを配布 行事はその都度募集		連携・協力 機関・団体	公民館・地域住民・西条自然学校・石鎚ふれあいの里・自治会他				

取組の概要

<主な取組内容> 山の体験プログラムを9回実施しました。

- よもぎ蒸しパンづくりと今後の体験教室について
開催予定の各体教室の説明を行いました。春に摘んだよもぎを生地に、手づくりのあんこを入れながら蓬蒸しパンを作りました。
- かかしづくり体験
不要になった衣類の中に新聞を入れて、かかしを作りました。
- かずらで鍋敷きづくり体験
大保木の山で採れたツルを編んで、鍋敷きを作りました。
- 大保木古道を歩いて知る歴史
大保木古道を散策しながら極楽寺本堂まで上がり、自然と向き合いながら逞しく生きる林業青年と最年長の講和を聞きました。
- 運動会
午前中のみで開催でしたが地域住民と賑やかにスポーツを楽しみました。
- 薪割りと薪を使ったご飯づくり体験
木について解説を受けながら、斧を持って薪を割り、山仕事を体験しました。昼食には割った薪を使い、羽釜でご飯を炊きました。
- しめ縄づくり
まず最初に縄の編み方から教えてもらい、お正月飾りを作りました。
- 春の七草会
地域の方が摘んでくださった七草を入れたお粥を食べて七草のいわれ、効能についても学びました。
- こんにやくづくり体験
昔ながらの方法でこんにやく芋からこんにやくを作る



(山のツルを編んでかご作り体験)
地元の方に教えと協力を得ながら、初めての鍋敷きづくりに挑戦しました。

児童・生徒の感想

- ・ 普段の生活では体験できないことができていいなと思います。
- ・ 地域の方と交流しながら山の文化に触れることができよかったです。
- ・ 蓬蒸しパンが美味しかったです。

<特色ある取組>

- こんにやくづくり体験
大保木の大自然を感じながら、山の生活に触れ、地域の人々との交流を通して大保木の魅力を知ってもらおう。講師はすべて地元住民、出身者等大保木にゆかりのある人で得意分野を活かし指導する。



初めてのこんにやくづくりに挑戦！！

事業を実施して

【成果】

- 大保木に関心を持つきっかけとなり、楽しさを感じて継続して通ってくれる生徒が一定数みられるようになった。
- 高校の先生方が積極的に事業に協力してくれるようになった。(事業の周知や生徒のとりまとめ)
- 住民自身が得意分野の講師となることで生きがいにつながった。

【課題】

- 高校との開催日程の調整
- 持続可能な活動内容の企画
- 地域の方々、講師となるスタッフの協力、支援体制の継続